

露草レポート (S.Aさん)

露草は夏の訪れの風物詩のイメージそのもので、ふと道端で咲いているところを見つけると夏を感じたものでした。

子供の頃のワクワクした夏休みを思い出します。花びらをちぎって色水を作ってみたり。

露草の種を蒔くわけでもないのにひっそり民家の庭や道端に人知れず咲き、それでいてはっとするほど鮮やかなブルーが可憐で愛らしい2枚の花びらが印象的でした。ところが後から花びらが2枚ではなく小さな3枚目の花びらがあることを知りました。更に調べてみると白い花の露草もあり（こちらははっきりと3枚。）、親しんでいたつもりの露草のことは案外にも知らないということがわかりました。

今回露草花のリサーチのご縁をいただきとても嬉しく思いました。

好きな花のエッセンスはよりいっそう興味が湧きます。

エッセンスが届きすぐに飲んでみた第一印象は、喉からハートに何か染み渡る感覚がありました。しばらくすると第三チャクラの奥に落ち着き、それと同時に左手に何か反応がありました。

飲み方は、朝と夜にスポイトで吸い取った分（3から4滴）を飲みました。

飲んだ期間は約2週間。

飲み始めてからの変化は、いつのまにか自分自身の過去を振り返っていて、

考えていたのは、自分の人生の青写真についてでした。

本当に大事なものは何だろうか？

何が好きでこの道を選び、今の自分が出来上がったのだろうか？

少し人生を振り返ってみると

子供の頃から花や自然は好きで、近くに森や畑があり、春になればつくしを取り、リングで花飾りを作り、秋になればキバナコスモスが咲いているような環境に住んでいました。やがて引っ越した先も草原が広がるのびのびした環境でした。

現在のフラワーアレンジの講師やフラワーエッセンスに関わる仕事に長く関わっているのは、子供の頃の環境によることも大きいと思います。

結婚してから心に余裕ができ、今までやりたくても出来なかったことを習い始めたのがフラワーアレンジメントでした。

花を習っているその延長上に、オーラソーマとフラワーエッセンスが繋がっていて、それから20年近く経ちました。

当たり前のようにそれらと共に過ごしてきたのですが、今回この露草のエッセンスを飲むことによって、人生をもう一度振り返る機会を得たような気がします。

現在の自分に繋がる内面に向かうプロセスの旅。

特にまだ使っていない資質にフォーカスすると同時に、子供時代に忘れてきた片鱗を知りたいと思いました。

露草のブルーは、＜平和＞のブルーを思い起こします。平和は色々な意味があると思いますが、まず自分自身の心の内面の静寂のブルー。

それと同時に、インナーチャイルドなどネガティブなパターンのブルーも浮かび上がってきます。そわそわとなんとなく落ち着かなくなり、孤独感が増す気がするのです。そのパターンを浮かび上がらせ、受けいれてからそぎ落としてゆく気がしました。

<メモ> ブルーに心が傾いたときに、たまたま東の空から、とても美しいオレンジ色の月がぽっかり浮かんでいました。心がほっこりしました。

ブルーに傾きすぎの時は、反対色のオレンジ色でバランスがとれるのだろう。

更に深くブルーを感じたところ、嘘偽りのない自分自身が見えてきた。

露草のゼスチャーの、肩肘の張らないやわらかさ。

<今日という日を懸命に輝いて生きる>ということを感じました。

そして、そのタイミング、旬ではないと現れないというシンクロニシティ。

その時、その時のご縁、繋がり。

そして自分自身を大切に、というメッセージ。

露草のエッセンスを飲んでみると、不思議なほど＜色が好き＞という自分自身の深いところに辿り着いた気がします。これは生涯をかけて探求したいという願いに繋がっていました。

どのように探求するのかは不明ですが、思い切り何かを表現したり描きたいと思いクレヨンを購入しました。

このエッセンスを飲み始めた頃から、露草の花が咲いているのを見かける度に観察をしていたのですが、見る度に新たな発見がある気がします。

か弱い初々しい乙女のような純粋なイメージの花だと思っていましたが、
案外たくましい花なのではないかと思い始めました。
夏の花のイメージですが、10月現在まだ元気に咲き誇っています。

葉のハートに大事に抱かれて、その隙間からつぼみが現れてくるように花が咲いている
ような様子を見て、その姿は大事に我が子を慈しむ聖母の姿を感じたのです。
それは大げさなことではなく、普遍的な母の姿、どこにでもいるであろう子供を大切に
育てる母の姿を思い起こしました。

それと同時に、源に還り無垢な子供の頃のただ夏休みが楽しみで、憂鬱なこともあつ
たけど、毎日が新鮮で今日は何して遊ぼうか考えている子供時代を思い起こすことの
できるエッセンスだと思いました。

その相反する感情の中で、行ったり来たりしながら、少しづつ自分自身の内面の統合
を行ってゆくエッセンスなのではないかと思いました。

<補足>

このエッセンスと向き合っているさなかに、フラワーエッセンスのカードを引く機会
があり、その時に引いた花は、オレゴングレープ、フェアリーランタン、マグワート、
ラベンダー、ホーンビーム、クリサンセマム、トリリウム。

その後、子供の頃の原点であろう水森亜土さんの絵画展などを見に行き、大いに楽し
みつつ、同時に何が嫌だったのかなどに深く触れ、手放すきっかけになりました。

その後のお便りで、露草の種ができている姿を観察できたそうで、
「やはり大事に包まれていて。(葉の間に)とてもきめ細かき愛情を感じました。
そして原点に還ってみて水森亜土さんにたどり着いた時、こんなにも Happy なエネル
ギーの方から影響を受けていたのだと、とても嬉しかったです。」

*レポートを拝見して得た洞察

身体への変化：第一印象は、喉からハートに何か染み渡る感覚がありました。しばらく
くすると第三チャクラの奥に落ち着き、それと同時に左手に何か反応がありました。

『子供の頃のワクワクした夏休みを思い出』『ブルーの色に嘘偽りのない自分自

身』『<色が好き>このことを一生かけて探求していくことへの深い思い』にたどり着かれました。すぐにクレヨンを買っていた行動。スピード感もツユクサの特徴かもしれない。私たちの無垢な記憶につながっているような体験談でした。人生の青写真と向き合うタイミングが与えられたエピソードがあり、『タイミング、旬ではないと現れないというシンクロニシティ。その時、その時のご縁、繋がり。そして自分自身を大切に、というメッセージ。』について、大変興味深く感じました。

実際のツユクサから「普遍的な母の姿/聖母」をイメージされ、母性が関わっているのだろうとも繋がりました。